



平成22年度 調査研究事業企画書

グループ名：CITY BOYS
テーマ：『旬』の情報収集発信事業
～旬の食を、旬の情報で届けます！～



『旬』の情報収集発信事業

～旬の食を、旬の情報で届けます！～

グループ名

CITY BOYS

所属

名前

香美市 税 務 課	明石 祐樹
安芸市 財産管理課	岩永 章
香南市 健康対策課	尾原 健敏
香南市地域雇用創造協議会	浜田 義隆
高知市 生活食品課	吉永 順一

▼事業の必要性（事業選択の背景）

現在、放映中の NHK 大河ドラマ「龍馬伝」、そして「土佐・龍馬であい博」の開催により、全国的な龍馬ブームとなっていて、高知県への観光入込客数の予想は、昨年から約 47 万人増の 362 万人強と予想されます（日銀高知支店発表より予測）。高知県が掲げる「400 万人観光、1,000 億円産業への成長」に大きく近づくものの、龍馬ブームに乗ってもまだ、さまざまな方策を練らなければならないというのが現状です。



平成 18 年は山内一豊ブームに沸き、観光入込客数は 322 万人を記録しましたが、翌 19 年はその反動からか 17 万人減少しました。この割合で平成 23 年を予測すると大幅な減少が見込まれます。われわれ県内市町村も一体となって盛り上げていくため、観光客へのより一層の情報提供、そして観光客誘致策が必要ではないかと考えました。

■地元ならではのおいしい食べ物が多かった

1 位：高知県、2 位：香川県、3 位：沖縄県

高知県は「カツオ」香川県は「讃岐うどん」の圧倒的サポートで四国勢が上位を奪還。3 位沖縄県は「沖縄そば」、「ゴーヤチャンプル」など豊富な郷土料理で 3 位に。

全国的な傾向として、刺身・魚介類一般・カニ・ウニ・エビなど、地元でとれる新鮮な海の幸、ブランド牛肉が各地で挙げられている。また「そば」「ラーメン」「うどん」などご当地麺も多く挙げられている。宿の外で食べる昼食の満足度を上げる施策も重要であることがうかがえる。

(単位：%)

2010 順位		2009 順位	
全体平均	56.0	全体平均	54.1
1 位 高知県	80.8	1 位 沖縄県	72.0
2 位 香川県	74.6	2 位 高知県	71.5
3 位 沖縄県	71.2	3 位 香川県	70.8
4 位 北海道	70.6	4 位 鹿児島県	69.9
5 位 山形県	70.4	5 位 北海道	69.8
6 位 長崎県	69.6	6 位 福井県	69.2
7 位 宮城県	68.7	7 位 宮城県	68.2
8 位 鹿児島県	68.6	8 位 山形県	67.6
9 位 富山県	67.9	9 位 長崎県	67.4
10 位 福井県	67.6	10 位 青森県	66.5

《テーマ別、都道府県別魅力度ランキング》

リクルート社の「じゃらん宿泊旅行調査 2010」によれば、調査項目中「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」という項目では、高知県が 1 位となっていて、観光客からの「食」の期待が伺えます。

また、観光客へのフォローが最重要です。「ここにあるからおいで」と、観光名所を並べて待ち構えていても、観光客が重要視している食への期待を満足させることはできません。観光客が旅行計画を立てる際にすぐ使える、探せるインターネット上のウェブサイトがあれば、「観光地へ行って帰るだけ」という短時間の旅行から、「観光地へ行って、おいしいものを食べて、泊まって遊んで帰る」という滞在型旅行へとシフトさせることができます。

高知には、四季折々でさまざまな野菜、果物、魚介類等の旬の食材が存在し、いつ来ても何かの旬の食材に出会えます。しかし、その情報は十分に発信されていません。そこで行政のネットワークを利用して、地域の人々から情報を提供してもらい、「今」の情報を随時発信できる仕組みがあれば、より多くの観光客が求めているニーズに対応することができます。

以上のことから、私たちは『旬の情報収集発信事業』を提案いたします。

▼事業の手順

I.実施主体の決定

県内各市町村観光担当課や、飲食店、小売業者など500以上の団体等が賛助会員として加盟している(財)高知県観光コンベンション協会とします。

II.事業説明

情報提供者からの旬の情報を収集して整理する役割を担う各市町村担当課に事業の趣旨説明を実施します。

III.システム開発

旬情報のホームページ作成と、ページを管理するツールを開発し、各市町村との情報ネットワークを構築します。

IV.情報提供者の募集

同協会の会員のうち、飲食業・小売業などを中心に、農業・漁業者など個人にも声かけし、旬の情報がより多く、より迅速に集まるようにします。また、各市町村の広報誌やホームページなどを通じて一般住民の方にも募集を行っていきます。

V.事業開始

情報提供者からの情報が各市町村に集まり、それを定時的に同協会へデジタル方式で、もしくは担当が直接ホームページへアクセスすることによって、最終的には同協会の決裁を受けた後、更新していきます。

VI.事業評価

1年間の事業評価として、各情報提供者に対してアンケート調査を実施します。

▼事業の内容

旬の利点を生かし、ホームページ上で高知の食をアピールすることにより、観光客を増加させ、さらに観光客の満足度をあげることにより、リピーターや口コミによる新規の観光客の増加を図ります。

旬の利点とは・・・

- ①食材が1年でもっともおいしく食べられる
- ②人間がその季節に必要な栄養素をたっぷり含んでいる
- ③値段が安価で消費者に喜ばれる



▼予算金額

歳入		
バナー広告料	600,000 円	10,000 円×12 カ月×5 社
歳出		
ホームページ作成・システム構築費	2,790,000 円	2 年目以降はなし
システム使用料	840,000 円	月額 70,000 円×12 カ月
年間人件費相当額(1日当たり30分で計算)	113,000 円	臨時職員を雇用した場合
TV、FMラジオ広告料	0 円	

▼日程計画

ここには「事業主体決定」と書いていますが、実際には(財)高知県観光コンベンション協会を筆頭として、各市町村観光担当が加盟する形がつかれるかどうかの決定という意味合いです。

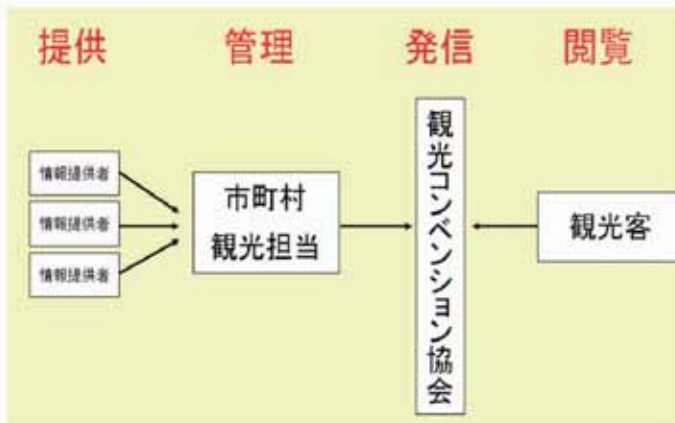
12月からは、同協会のホームページ上に新たなシステムを構築する準備を開始します。公開するホームページ、市町村との連携システム、情報提供のひな型などを作成していきます。

1月中旬からは、実際に情報提供をしてくださる方の募集を開始します。

ホームページでの公開、事業開始は3月初旬からのテスト運用を経て、一般公開は4月1日を予定しています。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
事業主体決定		■					
事業説明			■				
システム開発			■				
情報提供者の募集				■			
事業開始						■	

▼推進体制



各市町村に複数存在する情報提供者は、すべて登録制を取り、その方たちが旬の情報を、各市町村の担当者に電子メール等の方法で送信します。市町村の担当者は届けられた情報を吟味し、情報を精製して観光コンベンション協会へデジタル方式でデータを送付します。観光コンベンション協会はそれに対して電子決裁を行い、ホームページ上にアップします。

※ 各市町村の情報提供者の募集要項は、以下のようなものにします。

対象者：以下の条件を満たす者

- ・年齢、性別、職業の不問。高知県内に在住していること。
- ・パソコンや携帯電話から在住市町村観光担当に、掲載（希望）内容や地元の旬の食材等の画像の送信が可能である者。

応募方法：

- ・氏名、住所、連絡先、地元の旬の情報を記載の上、電子メールにより提出。

■ まとめ ■

旅の醍醐味のひとつに、必ず「おいしいものを食べたい」というキーワードが頭に浮かびます。全国の観光客が高知に期待し、そしてその期待にこたえられつつあるのが「食」なのです。これからは、全国へ向かって食をアピールすべきです。観光客は食の情報、もう一步踏み出して言うならば、おいしい食＝旬の情報を待ち望んでいます。最初の一步は勇気とお金が伴いますが、高知県内各市町村が一致団結することによって必ずや、高知をほかのどこにも負けない「食の王国、旬のパラダイス」にすることができます。

生産年齢人口が減っていくなか、高知県が生きていく道は「観光」しかありません！その中でも「食」は観光のもっとも重要な要素であるのは間違いありません。

今すぐ最初の一步を踏み出すべきです！

CITY★BOYS



KAMI CITY 香美市役所 税務課
明石 祐樹



AKI CITY 安芸市役所 財産管理課
岩永 章



KON CITY 香南市役所 健康対策課
尾原 健敏



KON CITY 香南市地域雇用創造協議会
浜田 義隆



KOCHI CITY 高知市役所 生活食品課
吉永 順一



調査研究事業
本多 鉄男 講師



専門家による情報通信技術指導

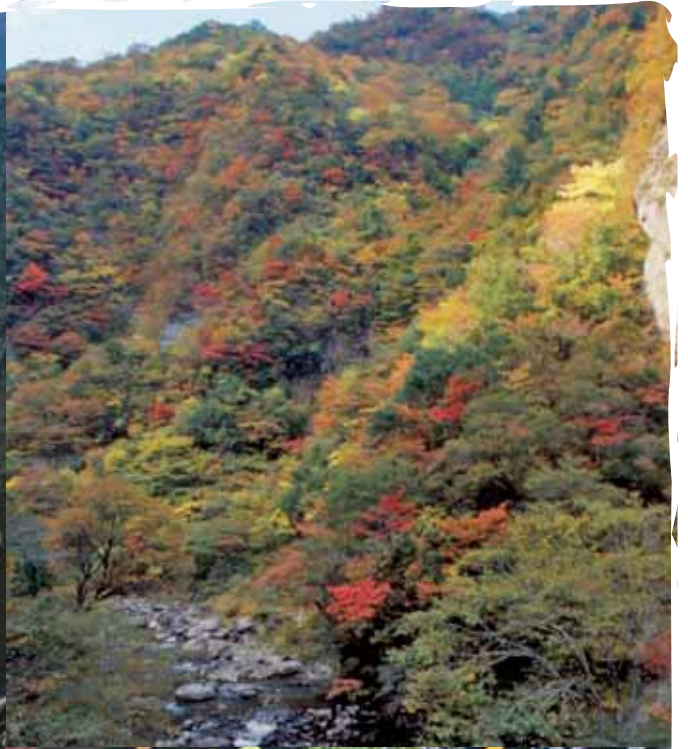


チーム会の様子



本多講師による
政策立案指導





こうち人づくり広域連合

第7回調査研究事業

〒780-0870 高知市本町 5 丁目 2 - 3 (自治会館 2 F)

TEL (088) 873-0333 FAX (088) 872-7716